●無断転載禁止
●著作権はスポーツニッポン新聞社に帰属します
●転載承認済

スポーツニッポン
平成 22 年 10 月 13 日付　掲載

東京都市大学グループ
学校法人 五島育英会

スポーツニッポン
(第3種郵便物認可) 2010年（平成22年）10月11日（月曜日）

Fresh! 信州

情報をお寄せください　メールアドレス:sn-nagano@sponichi.co.jp

津山完封！高田先制二塁打！

都市大塩尻 V 6年ぶり

6年ぶりVを果たし、6安打完封の津山（中央）のもとへ駆け寄る東京都市大塩尻ナイン。

▽決勝
東京都市大塩尻　000 000 011 2
佐久長聖　000 000 000 0

東京都市大塩尻が佐久長聖との決勝を2―0で制し、6年ぶりの県王座奪回を果たした。両校無得点で迎えた8回、高田裕也（1年）の左越え二塁打で均衡を破ると、9回は吉田光佑（1年）の中前打で追加点を奪った。左腕・津山拓海（2年）は巧みな配球で三塁を踏ませず完封した。3位決定戦は松商学園が2―1で飯山北に競り勝ち、5年ぶりに代表に滑り込んだ。本大会は23日から富山県で開催。組み合わせは15日に決まる。

高校野球秋季北信越県大会最終日

（10日　長野五輪）

吉田追撃打

東京都市大塩尻 2―0 佐久長聖（決勝）

東京都市大塩尻	打	安	点
④吉田	4	1	1
②古谷	4	3	0
⑧笠原	5	1	0
③松原	3	1	0
⑦高田	4	2	1
R久保田	0	0	0
7中島	0	0	0
⑨内藤	3	0	0
⑤荻野	4	1	0
①津山	4	1	0
⑥杉本	3	1	0
計	34	11	2

佐久長聖	打	安	点
⑥河西	4	1	0
④中島裕	3	0	0
⑦宮本	3	1	0
⑧中島知	3	1	0
③寺尾	4	1	0
⑤金田	3	1	0
⑨下村	1	0	0
H9南沢	1	0	0
H園田	1	0	0
①小林	3	0	0
②宮崎	3	1	0
計	29	6	0

▽三塁打＝杉本▽二塁打＝高田

	回	打	安	責
津山	9	35	6	0
小林	9	39	11	2

【東】6 2 3 0 0　振球犠盗失
【佐】6 3 3 0 3
▽暴投＝小林▽球審＝高橋　1時間59分

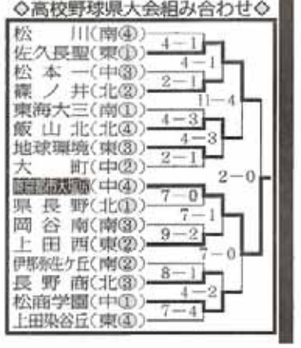
「出来すぎです」

最後に迎えた無死一、二塁のピンチを遊直、遊飛、空振り三振で切り抜けると、都市大塩尻の津山は表情を変えずにマウンドを降りた。2―0。会心の117球で6年ぶりVの立役者となった。「出来すぎです」。堂々の初完封を決勝で成し遂げても、1メートル77、60キロのスリムな左腕は謙虚に金メダルを見つめた。

神戸・筒井台中出身。先輩が在学していた縁で長野にやってきた。柱となった今夏は3回戦で優勝した松本工・柿田に0―2で惜敗している。新チームでは自打球を当てた右足が化のうするアクシデントで8月下旬まで戦線離脱。県大会で本格復帰した。

三塁を踏ませず

この日は古谷拓幹捕手の要求通りに球速を殺したカーブでカウントを整えながら、直球を前半は内、後半は外に集めた。援護は8、9回にいずれも2死から叩き出した2点だけ。それでも集中を切らさず長聖打線に三塁すら踏ませなかった。

準決勝では背番1の右腕・金子豪が松商を7回零封。タイプの異なる2本柱にメドが立ち、新井孝行監督(59)は「歯車がかみ合った。また鍛え直して無駄な点をやらない野球を心がけたい」。社会人の三菱自動車川崎を率いて93年都市対抗で4強入り、その後は高岡一（富山）を00年センバツに導いた。アマ球界の晴れ舞台を知る単身赴任3年目の闘将はモットーの堅守に磨きをかけ、自宅のある富山県で開かれる北信越に乗り込む。（高地　浩志）

◇高校野球県大会組み合わせ◇